

工学部 アセスメントプラン

アセスメントの方針

建学の精神並びに教育の目的に沿った教育活動を実施できているかを確認し、教育活動の成果と課題の発見に資することを目的として、学修成果のアセスメントを行う。学修成果に加えて、その過程となる学修意欲や学修行動もアセスメントに含む。これらのアセスメントにより、3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）の到達状況を把握する。ディプロマ・ポリシーの到達状況は卒業時の学修成果や卒業後の自己並びに社会的評価、カリキュラム・ポリシーの到達状況はカリキュラムの実施状況及び各授業科目における学生の学修成果等をもとにディプロマ・ポリシー到達に向けた進捗、アドミッション・ポリシーの到達状況は入学者の資質・能力を確認する。

アセスメントは、学生の成果物等に基づき「何ができるか（アウトカム）」を評価する直接評価と、学生の自己評価に基づき「何ができると思っているか（アウトカム）」、「どのように学修しているか（アウトプット）」を評価する間接評価に基づき行う。学生全体だけでなく個々の学生の状況についても、経年的かつ多面的に把握する。

アセスメントの方法

No.	名称	対象	時期・頻度	学年	主な質問項目、内容等	実施責任部署	結果の活用方法
1	卒業論文・卒業研究等ルーブリック	DP2.1～DP2.3 DP3.2	毎年度末等	卒業学年	卒業論文・卒業研究等の学修成果	各学科	個々の教員が評価を行い、結果を集約し、各学科において授業方法やカリキュラム改善、自己点検・評価に活用
2	卒業アンケート	DP1～3	毎年1～3月	卒業学年	学修経験、学修行動、修得した能力、大学の満足度	学生委員会	集計結果がIR・教育支援センターより提供され、工学部の結果については教育システム改善委員会において検討され、各学科のカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
3	全国学生調査（最終年次）	DP1～3	毎年1回	卒業学年	学修経験、学修行動、修得した能力、大学の印象	教務委員会	集計結果がIR・教育支援センターより提供され、工学部の結果については、教育システム改善委員会において検討され、カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、

							情報公開に活用
4	卒業生の進路状況	DP1～3	毎年1回	卒業学年	卒業生の進路（就職率、有力企業就職率、進学率）	就職指導委員会	集計結果がキャリアセンターより提供され、工学部の結果については就職指導委員会において検討され、キャリア形成支援の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
5	卒業生調査	DP1～3	毎年1回	卒業後1年以上経過の卒業生	現在の就業状況、大学に対する満足度、大学で身についた能力、授業や教育プログラムへの意見・要望	教育システム改善委員会	集計結果がIR・教育支援センターより提供され、工学部の結果については、教育システム改善委員会において検討され、カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
6	就職先アンケート	DP1～3	毎年1回	卒業生就職先 ※数名の採用実績がある企業	在籍する卒業生の活躍から、近畿大学のDP達成度や強み・弱みなどをアンケート聴取	教育システム改善委員会	集計結果がIR・教育支援センターより提供され、工学部の結果については、教育システム改善委員会において検討され、カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
7	学部長会談（広島キャンパスミーティング）	CP/DP1～3	毎年1回	学生代表者	学修行動、授業・カリキュラム満足度 学生生活に関する要望等	学部長	実施後に学生センターで報告書を集約 【学修行動、授業・カリキュラム満足度に関する意見】 教務委員会において検討され、その内容をもとに授業方法やカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価に活用 【学生生活に関する要望】 学生委員会において検討され、

							修学・生活環境の改善、自己点検・評価に活用
8	学修振り返りアンケート	CP	毎学期1回	全学年	学修行動、授業の理解度、学修到達目標達成度	FD活動推進部門	学生センターが結果を集計し、結果についてはFD活動推進部門において検討され、授業方法やカリキュラム改善、自己点検・評価に活用
9	成績不振学生、休退学の調査	CP	毎学期1回 (成績不振)、 随時(休退学)	全学年	学業不振の状況 (GPA、修得単位数、留年者数)、休学者数、退学者数	教務委員会	【成績不振学生(GPA、修得単位数、留年者数)】教務委員会において成績不振学生の成績分布や傾向を分析し、学修支援、カリキュラム改善、自己点検・評価に活用 【休学者数、退学者数】 学生委員会において休学者数、退学者数の推移や理由を分析し、学修支援、自己点検に活用
10	全国学生調査(2年次)	CP	毎年1回	2年生	学修経験、学修行動、修得した能力、大学の印象	教務委員会	集計結果がIR・教育支援センターより提供され、工学部の結果については、教務委員会において検討され、カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
11	GPS-Academic(3年次を基本)	CP	毎年1回	原則3年生	学修行動、授業・カリキュラム満足度	学生委員会	集計結果が委託業者より提供され、工学部の結果については各委員会において検討され、就職指導委員会が就職支援、教務委員会が授業方法やカリキュラム改善、低学年時における学修環境の充実、学生委員会が学修支援、自己点検・評価、情報公開に活用
12	学生生活実態調	CP	隔年9～10月	全学年	学生生活、課外活動	学生委員会	集計結果が学生部より提供され、

	査		頃		の経験、学修行動、 大学に対する評価		工学部の結果については各委員会にて検討され、教務委員会にてカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、学生委員会にて修学支援、各委員会において自己点検・評価、情報公開に活用
13	入学試験	AP	毎年	入学志願者	大学での学修に必要な基礎学力	入試委員会	集計結果が入学センターより提供され、工学部の結果については、入試委員会にて検討され、入学試験の改善、入学者の現状把握に活用
14	GPS-Academic (1年次)	AP	毎年4～5月頃	1年生	本学への満足度、入学前の学習状況、海外留学の意識、卒業後の進路	学生委員会	IR・教育支援センターから依頼を受けた委託業者からの報告に基づき、工学部の結果については教務委員会にて、入学時点の汎用的能力の把握、今後の学修支援、学生委員会において修学支援、自己点検・評価、情報公開に活用
15	英語プレイスメントテスト	AP	毎年	1年生	TOEIC Bridgeテスト	教務委員会	実施後に入学時点の英語習熟度を把握し、結果については教務委員会にて検討され、習熟度別語学教育のクラス分けに活用

以 上

工学部 化学生命工学科 アセスメントプラン

アセスメントの方針

建学の精神並びに教育の目的に沿った教育活動を実施できているかを確認し、教育活動の成果と課題の発見に資することを目的として、学修成果のアセスメントを行う。学修成果に加えて、その過程となる学修意欲や学修行動もアセスメントに含む。これらのアセスメントにより、3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）の到達状況を把握する。ディプロマ・ポリシーの到達状況は卒業時の学修成果や卒業後の自己並びに社会的評価、カリキュラム・ポリシーの到達状況はカリキュラムの実施状況及び各授業科目における学生の学修成果等をもとにディプロマ・ポリシー到達に向けた進捗、アドミッション・ポリシーの到達状況は入学者の資質・能力を確認する。

アセスメントは、学生の成果物等に基づき「何ができるか（アウトカム）」を評価する直接評価と、学生の自己評価に基づき「何ができると思っているか（アウトカム）」、「どのように学修しているか（アウトプット）」を評価する間接評価に基づき行う。学生全体だけでなく個々の学生の状況についても、経年的かつ多面的に把握する。

アセスメントの方法

No.	名称	対象	時期・頻度	学年	主な質問項目、内容等	実施責任部署	結果の活用方法
1	卒業論文・卒業研究等ルーブリック	DP1.1 DP2.1～DP2.3 DP3.1～DP3.2	毎年度末等	卒業学年	卒業論文・卒業研究等の学修成果	学科	個々の教員が評価を行い、結果を集約し、学科において授業方法やカリキュラム改善、自己点検・評価に活用
2	卒業アンケート	DP1～3	毎年1～3月	卒業学年	学修経験、学修行動、習得した能力、大学の満足度	学生委員会	集計結果がIR・教育支援センターより提供され、工学部の結果については教育システム改善委員会において検討され、学科のカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
3	全国学生調査（最終年次）	DP1～3	毎年1回	卒業学年	学修経験、学修行動、修得した能力、大学の印象	教務委員会	集計結果がIR・教育支援センターより提供され、工学部の結果については、教育システム改善委員会において検討され、カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、

							情報公開に活用
4	卒業生の進路状況	DP1～3	毎年1回	卒業学年	卒業生の進路（就職率、有力企業就職率、進学率）	就職指導委員会	集計結果がキャリアセンターより提供され、工学部の結果については就職指導委員会において検討され、キャリア形成支援の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
5	卒業生調査	DP1～3	毎年1回	卒業後1年以上経過の卒業生	現在の就業状況、大学に対する満足度、大学で身についた能力、授業や教育プログラムへの意見・要望	教育システム改善委員会	集計結果がIR・教育支援センターより提供され、工学部の結果については、教育システム改善委員会において検討され、カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
6	就職先アンケート	DP1～3	毎年1回	卒業生就職先 ※数名の採用実績がある企業	在籍する卒業生の活躍から、近畿大学のDP達成度や強み・弱みなどをアンケート聴取	教育システム改善委員会	集計結果がIR・教育支援センターより提供され、工学部の結果については、教育システム改善委員会において検討され、カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
7	学部長会談（広島キャンパスミーティング）	CP/DP1～3	毎年1回	学生代表者	学修行動、授業・カリキュラム満足度 学生生活に関する要望等	学部長	実施後に学生センターで報告書を集約 【学修行動、授業・カリキュラム満足度に関する意見】 教務委員会において検討され、その内容をもとに授業方法やカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価に活用 【学生生活に関する要望】 学生委員会において検討され、修学・生活環境の改善、自己点検・評価に活用

8	学修振り返りアンケート	CP	毎学期1回	全学年	学修行動、授業の理解度、学修到達目標達成度	FD活動推進部門	学生センターが結果を集計し、結果についてはFD活動推進部門において検討され、授業方法やカリキュラム改善、自己点検・評価に活用
9	成績不振学生、休退学の調査	CP	毎学期1回 (成績不振)、 随時(休退学)	全学年	学業不振の状況 (GPA、修得単位数、留年者数)、休学者数、退学者数	教務委員会	【成績不振学生(GPA、修得単位数、留年者数)】教務委員会において成績不振学生の成績分布や傾向を分析し、学修支援、カリキュラム改善、自己点検・評価に活用 【休学者数、退学者数】学生委員会において休学者数、退学者数の推移や理由を分析し、修学支援、自己点検に活用
10	全国学生調査(2年次)	CP	毎年1回	2年生	学修経験、学修行動、習得した能力、大学の印象	教務委員会	集計結果がIR・教育支援センターより提供され、工学部の結果については、教務委員会において検討され、カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
11	GPS-Academic(3年次を基本)	CP	毎年1回	原則3年生	学修行動、授業・カリキュラム満足度	学生委員会	集計結果が委託業者より提供され、工学部の結果については各委員会において検討され、就職指導委員会が就職支援、教務委員会が授業方法やカリキュラム改善、低学年時における学修環境の充実、学生委員会が修学支援、自己点検・評価、情報公開に活用
12	学生生活実態調査	CP	隔年9～10月頃	全学年	学生生活、課外活動の経験、学修行動、大学に対する評価	学生委員会	集計結果が学生部より提供され、工学部の結果については各委員会にて検討され、教務委員会に

							てカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、学生委員会にて修学支援、各委員会において自己点検・評価、情報公開に活用
13	入学試験	AP	毎年	入学志願者	大学での学修に必要な基礎学力	入試委員会	集計結果が入学センターより提供され、工学部の結果については、入試委員会にて検討され、入学試験の改善、入学者の現状把握に活用
14	GPS-Academic (1年次)	AP	毎年4～5月頃	1年生	本学への満足度、入学前の学習状況、海外留学の意識、卒業後の進路	学生委員会	IR・教育支援センターから依頼を受けた委託業者からの報告に基づき、工学部の結果については教務委員会にて、入学時点の汎用的能力の把握、今後の学修支援、学生委員会において修学支援、自己点検・評価、情報公開に活用
15	英語プレイスメントテスト	AP	毎年	1年生	TOEIC Bridgeテスト	教務委員会	実施後に入学時点の英語習熟度を把握し、結果については教務委員会にて検討され、習熟度別語学教育のクラス分けに活用

以上

工学部機械工学科 アセスメントプラン

アセスメントの方針

建学の精神並びに教育の目的に沿った教育活動を実施できているかを確認し、教育活動の成果と課題の発見に資することを目的として、学修成果のアセスメントを行う。学修成果に加えて、その過程となる学修意欲や学修行動もアセスメントに含む。これらのアセスメントにより、3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）の到達状況を把握する。ディプロマ・ポリシーの到達状況は卒業時の学修成果や卒業後の自己並びに社会的評価、カリキュラム・ポリシーの到達状況はカリキュラムの実施状況及び各授業科目における学生の学修成果等をもとにディプロマ・ポリシー到達に向けた進捗、アドミッション・ポリシーの到達状況は入学者の資質・能力を確認する。

アセスメントは、学生の成果物等に基づき「何ができるか（アウトカム）」を評価する直接評価と、学生の自己評価に基づき「何ができると思っているか（アウトカム）」、「どのように学修しているか（アウトプット）」を評価する間接評価に基づき行う。学生全体だけでなく個々の学生の状況についても、経年的かつ多面的に把握する。

アセスメントの方法

No.	名称	対象	時期・頻度	学年	主な質問項目、内容等	実施責任部署	結果の活用方法
1	卒業論文・卒業研究等ルーブリック	DP2.1～2.3 DP3.1	毎年度末等	卒業学年	卒業論文・卒業研究等の学修成果	学科	個々の教員が評価を行い、結果を集約し、学科において授業方法やカリキュラム改善、自己点検・評価に活用
2	卒業アンケート	DP1～3	毎年1～3月	卒業学年	学修経験、学修行動、習得した能力、大学の満足度	学生委員会	集計結果がIR・教育支援センターより提供され、工学部の結果については教育システム改善委員会において検討され、学科のカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
3	全国学生調査（最終年次）	DP1～3	毎年1回	卒業学年	学修経験、学修行動、修得した能力、大学の印象	教務委員会	集計結果がIR・教育支援センターより提供され、工学部の結果については、教育システム改善委員会において検討され、カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、

							情報公開に活用
4	卒業生の進路状況	DP1～3	毎年1回	卒業学年	卒業生の進路（就職率、有力企業就職率、進学率）	就職指導委員会	集計結果がキャリアセンターより提供され、工学部の結果については就職指導委員会において検討され、キャリア形成支援の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
5	卒業生調査	DP1～3	毎年1回	卒業後1年以上経過の卒業生	現在の就業状況、大学に対する満足度、大学で身についた能力、授業や教育プログラムへの意見・要望	教育システム改善委員会	集計結果がIR・教育支援センターより提供され、工学部の結果については、教育システム改善委員会において検討され、カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
6	就職先アンケート	DP1～3	毎年1回	卒業生就職先 ※数名の採用実績がある企業	在籍する卒業生の活躍から、近畿大学のDP達成度や強み・弱みなどをアンケート聴取	教育システム改善委員会	集計結果がIR・教育支援センターより提供され、工学部の結果については、教育システム改善委員会において検討され、カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
7	学部長会談（広島キャンパスミーティング）	CP/DP1～3	毎年1回	学生代表者	学修行動、授業・カリキュラム満足度 学生生活に関する要望等	学部長	実施後に学生センターで報告書を集約 【学修行動、授業・カリキュラム満足度に関する意見】 教務委員会において検討され、その内容をもとに授業方法やカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価に活用 【学生生活に関する要望】 学生委員会において検討され、修学・生活環境の改善、自己点検・評価に活用

8	学修振り返りアンケート	CP	每学期1回	全学年	学修行動、授業の理解度、学修到達目標達成度	FD活動推進部門	学生センターが結果を集計し、結果についてはFD活動推進部門において検討され、授業方法やカリキュラム改善、自己点検・評価に活用
9	成績不振学生、休退学の調査	CP	每学期1回 (成績不振)、 随時(休退学)	全学年	学業不振の状況 (GPA、修得単位数、留年者数)、休学者数、退学者数	教務委員会	【成績不振学生(GPA、修得単位数、留年者数)】教務委員会において成績不振学生の成績分布や傾向を分析し、学修支援、カリキュラム改善、自己点検・評価に活用 【休学者数、退学者数】学生委員会において休学者数、退学者数の推移や理由を分析し、修学支援、自己点検に活用
10	全国学生調査(2年次)	CP	毎年1回	2年生	学修経験、学修行動、習得した能力、大学の印象	教務委員会	集計結果がIR・教育支援センターより提供され、工学部の結果については、教務委員会において検討され、カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
11	GPS-Academic(3年次を基本)	CP	毎年1回	原則3年生	学修行動、授業・カリキュラム満足度	学生委員会	集計結果が委託業者より提供され、工学部の結果については各委員会において検討され、就職指導委員会が就職支援、教務委員会が授業方法やカリキュラム改善、低学年時における学修環境の充実、学生委員会が修学支援、自己点検・評価、情報公開に活用
12	学生生活実態調査	CP	隔年9～10月頃	全学年	学生生活、課外活動の経験、学修行動、大学に対する評価	学生委員会	集計結果が学生部より提供され、工学部の結果については各委員会にて検討され、教務委員会に

							てカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、学生委員会にて修学支援、各委員会において自己点検・評価、情報公開に活用
13	入学試験	AP	毎年	入学志願者	大学での学修に必要な基礎学力	入試委員会	集計結果が入学センターより提供され、工学部の結果については、入試委員会にて検討され、入学試験の改善、入学者の現状把握に活用
14	GPS-Academic (1年次)	AP	毎年4～5月頃	1年生	本学への満足度、入学前の学習状況、海外留学の意識、卒業後の進路	学生委員会	IR・教育支援センターから依頼を受けた委託業者からの報告に基づき、工学部の結果については教務委員会にて、入学時点の汎用的能力の把握、今後の学修支援、学生委員会において修学支援、自己点検・評価、情報公開に活用
15	英語プレイスメントテスト	AP	毎年	1年生	TOEIC Bridgeテスト	教務委員会	実施後に入学時点の英語習熟度を把握し、結果については教務委員会にて検討され、習熟度別語学教育のクラス分けに活用

以上

工学部情報学科 アセスメントプラン

アセスメントの方針

建学の精神並びに教育の目的に沿った教育活動を実施できているかを確認し、教育活動の成果と課題の発見に資することを目的として、学修成果のアセスメントを行う。学修成果に加えて、その過程となる学修意欲や学修行動もアセスメントに含む。これらのアセスメントにより、3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）の到達状況を把握する。ディプロマ・ポリシーの到達状況は卒業時の学修成果や卒業後の自己並びに社会的評価、カリキュラム・ポリシーの到達状況はカリキュラムの実施状況及び各授業科目における学生の学修成果等をもとにディプロマ・ポリシー到達に向けた進捗、アドミッション・ポリシーの到達状況は入学者の資質・能力を確認する。

アセスメントは、学生の成果物等に基づき「何ができるか（アウトカム）」を評価する直接評価と、学生の自己評価に基づき「何ができるか（アウトカム）」、「どのように学修しているか（アウトプット）」を評価する間接評価に基づき行う。学生全体だけでなく個々の学生の状況についても、経年的かつ多面的に把握する。

アセスメントの方法

No.	名称	対象	時期・頻度	学年	主な質問項目、内容等	実施責任部署	結果の活用方法
1	卒業論文・卒業研究等ルーブリック	DP1.1, DP2.3, DP3.2	毎年度末等	卒業学年	卒業論文・卒業研究等の学修成果	学科	個々の教員が評価を行い、結果を集約し、学科において授業方法やカリキュラム改善、自己点検・評価に活用
2	卒業アンケート	DP1.1～DP1.7 DP2.1～DP2.3 DP3.1～DP3.2	毎年1～3月	卒業学年	学修経験、学修行動、習得した能力、大学の満足度	学生委員会	集計結果がIR・教育支援センターより提供され、工学部の結果については教育システム改善委員会において検討され、学科のカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
3	全国学生調査（最終年次）	DP1～3	毎年1回	卒業学年	学修経験、学修行動、修得した能力、大学の印象	教務委員会	集計結果がIR・教育支援センターより提供され、工学部の結果については、教育システム改善委員会において検討され、カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、

							情報公開に活用
4	卒業生の進路状況	DP1.1～DP1.7 DP2.1～DP2.3 DP3.1～DP3.2	毎年1回	卒業学年	卒業生の進路（就職率、有力企業就職率、進学率）	就職指導委員会	集計結果がキャリアセンターより提供され、工学部の結果については就職指導委員会において検討され、キャリア形成支援の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
5	卒業生調査	DP1.1～DP1.7 DP2.1～DP2.3 DP3.1～DP3.2	毎年1回	卒業後1年以上経過の卒業生	現在の就業状況、大学に対する満足度、大学で身についた能力、授業や教育プログラムへの意見・要望	教育システム改善委員会	集計結果がIR・教育支援センターより提供され、工学部の結果については、教育システム改善委員会において検討され、カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
6	就職先アンケート	DP1.1～DP1.7 DP2.1～DP2.3 DP3.1～DP3.2	毎年1回	卒業生就職先 ※数名の採用実績がある企業	在籍する卒業生の活躍から、近畿大学のDP達成度や強み・弱みなどをアンケート聴取	教育システム改善委員会	集計結果がIR・教育支援センターより提供され、工学部の結果については、教育システム改善委員会において検討され、カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
7	学部長会談（広島キャンパスミーティング）	CP1～7 DP1.1～DP1.7 DP2.1～DP2.3 DP3.1～ DP3.2	毎年1回	学生代表者	学修行動、授業・カリキュラム満足度 学生生活に関する要望等	学部長	実施後に学生センターで報告書を集約 【学修行動、授業・カリキュラム満足度に関する意見】 教務委員会において検討され、その内容をもとに授業方法やカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価に活用 【学生生活に関する要望】 学生委員会において検討され、修学・生活環境の改善、自己点検・評価に活用

8	学修振り返りアンケート	CP	每学期1回	全学年	学修行動、授業の理解度、学修到達目標達成度	FD活動推進部門	学生センターが結果を集計し、結果についてはFD活動推進部門において検討され、授業方法やカリキュラム改善、自己点検・評価に活用
9	成績不振学生、休退学の調査	CP1～7	每学期1回 (成績不振)、 随時(休退学)	全学年	学業不振の状況 (GPA、修得単位数、留年者数)、休学者数、退学者数	教務委員会	【成績不振学生(GPA、修得単位数、留年者数)】教務委員会において成績不振学生の成績分布や傾向を分析し、学修支援、カリキュラム改善、自己点検・評価に活用 【休学者数、退学者数】学生委員会において休学者数、退学者数の推移や理由を分析し、修学支援、自己点検に活用
10	全国学生調査(2年次)	CP1～7	毎年1回	2年生	学修経験、学修行動、習得した能力、大学の印象	教務委員会	集計結果がIR・教育支援センターより提供され、工学部の結果については、教務委員会において検討され、カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
11	GPS-Academic(3年次を基本)	CP1～7	毎年1回	原則3年生	学修行動、授業・カリキュラム満足度	学生委員会	集計結果が委託業者より提供され、工学部の結果については各委員会において検討され、就職指導委員会が就職支援、教務委員会が授業方法やカリキュラム改善、低学年時における学修環境の充実、学生委員会が修学支援、自己点検・評価、情報公開に活用
12	学生生活実態調査	CP1～7	隔年9～10月頃	全学年	学生生活、課外活動の経験、学修行動、大学に対する評価	学生委員会	集計結果が学生部より提供され、工学部の結果については各委員会にて検討され、教務委員会に

							てカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、学生委員会にて修学支援、各委員会において自己点検・評価、情報公開に活用
13	入学試験	AP1～3	毎年	入学志願者	大学での学修に必要な基礎学力	入試委員会	集計結果が入学センターより提供され、工学部の結果については、入試委員会にて検討され、入学試験の改善、入学者の現状把握に活用
14	GPS-Academic (1年次)	AP1～3	毎年4～5月頃	1年生	本学への満足度、入学前の学習状況、海外留学の意識、卒業後の進路	学生委員会	IR・教育支援センターから依頼を受けた委託業者からの報告に基づき、工学部の結果については教務委員会にて、入学時点の汎用的能力の把握、今後の学修支援、学生委員会において修学支援、自己点検・評価、情報公開に活用
15	英語プレイスメントテスト	AP1～3	毎年	1年生	TOEIC Bridgeテスト	教務委員会	実施後に入学時点の英語習熟度を把握し、結果については教務委員会にて検討され、習熟度別語学教育のクラス分けに活用
16	JABEEプログラム 審査	CP1～7	6年ごと	全学年	JABEEプログラム更新 審査	学科	JABEEプログラムの更新時の審査を、カリキュラムの適切性の確認に活用

以 上

工学部建築学科 アセスメントプラン

アセスメントの方針

建築学科では、建学の精神及び教育の目的に沿った教育活動が適切に実施されているかを確認し、その成果と課題を明らかにすることを目的として、学修成果のアセスメントを行う。学修成果だけでなく、その過程における学修意欲や学修行動もアセスメントの対象とする。これらのアセスメントを通じて、以下の3つのポリシーの到達状況を把握する。

ディプロマ・ポリシー (DP)：卒業時の学修成果や、卒業後の自己評価及び社会的評価に基づいて把握する。

カリキュラム・ポリシー (CP)：カリキュラムの実施状況や各授業科目における学修成果を通じ、DPの達成に向けた進捗を評価する。

アドミッション・ポリシー (AP)：入学者の資質・能力を確認することで、到達状況を評価する。

アセスメントは、以下の2つの手法を用いて実施する。

直接評価：学生の成果物などから「何ができるか (アウトカム)」を評価する。

間接評価：学生の自己評価をもとに、「何ができているか (アウトカム)」や「どのように学修しているか (アウトプット)」を評価する。

これらの評価は、学生全体の傾向だけでなく、個々の学生の状況についても、経年的かつ多面的に把握することを重視する。

アセスメントの方法

No.	名称	対象	時期・頻度	学年	主な質問項目、内容等	実施責任部署	結果の活用方法
1	卒業論文・卒業研究等ルーブリック	DP1.1～DP1.3 DP2.1～DP2.3 DP3.1～DP3.2	毎年度末等	卒業学年	卒業論文・卒業研究等の学修成果	学科	個々の教員が評価を行い、結果を集約し、学科において授業方法やカリキュラム改善、自己点検・評価に活用
2	卒業アンケート	DP1～3	毎年1～3月	卒業学年	学修経験、学修行動、習得した能力、大学の満足度	学生委員会	集計結果がIR・教育支援センターより提供され、工学部の結果については教育システム改善委員会において検討され、学科のカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
3	全国学生調査 (最終年次)	DP1～3	毎年1回	卒業学年	学修経験、学修行動、修得した能力、大学の印象	教務委員会	集計結果がIR・教育支援センターより提供され、工学部の結果については、教育システム改善委員会において検討され、カリ

							キュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
4	卒業生の進路状況	DP1～3	毎年1回	卒業学年	卒業生の進路（就職率、有力企業就職率、進学率）	就職指導委員会	集計結果がキャリアセンターより提供され、工学部の結果については就職指導委員会において検討され、キャリア形成支援の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
5	卒業生調査	DP1～3	毎年1回	卒業後1年以上経過の卒業生	現在の就業状況、大学に対する満足度、大学で身についた能力、授業や教育プログラムへの意見・要望	教育システム改善委員会	集計結果がIR・教育支援センターより提供され、工学部の結果については、教育システム改善委員会において検討され、カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
6	就職先アンケート	DP1～3	毎年1回	卒業生就職先 ※数名の採用実績がある企業	在籍する卒業生の活躍から、近畿大学のDP達成度や強み・弱みなどをアンケート聴取	教育システム改善委員会	集計結果がIR・教育支援センターより提供され、工学部の結果については、教育システム改善委員会において検討され、カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
7	学部長会談（広島キャンパスミーティング）	CP/DP1～3	毎年1回	学生代表者	学修行動、授業・カリキュラム満足度 学生生活に関する要望等	学部長	実施後に学生センターで報告書を集約 【学修行動、授業・カリキュラム満足度に関する意見】 教務委員会において検討され、その内容をもとに授業方法やカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価に活用 【学生生活に関する要望】 学生委員会において検討され、

							修学・生活環境の改善、自己点検・評価に活用
8	学修振り返りアンケート	CP	毎学期1回	全学年	学修行動、授業の理解度、学修到達目標達成度	FD活動推進部門	学生センターが結果を集計し、結果についてはFD活動推進部門において検討され、授業方法やカリキュラム改善、自己点検・評価に活用
9	成績不振学生、休退学の調査	CP	毎学期1回 (成績不振)、 随時(休退学)	全学年	学業不振の状況 (GPA、修得単位数、留年者数)、休学者数、退学者数	教務委員会	【成績不振学生(GPA、修得単位数、留年者数)】教務委員会において成績不振学生の成績分布や傾向を分析し、学修支援、カリキュラム改善、自己点検・評価に活用 【休学者数、退学者数】 学生委員会において休学者数、退学者数の推移や理由を分析し、学修支援、自己点検に活用
10	全国学生調査(2年次)	CP	毎年1回	2年生	学修経験、学修行動、習得した能力、大学の印象	教務委員会	集計結果がIR・教育支援センターより提供され、工学部の結果については、教務委員会において検討され、カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
11	GPS-Academic(3年次を基本)	CP	毎年1回	原則3年生	学修行動、授業・カリキュラム満足度	学生委員会	集計結果が委託業者より提供され、工学部の結果については各委員会において検討され、就職指導委員会が就職支援、教務委員会が授業方法やカリキュラム改善、低学年時における学修環境の充実、学生委員会が学修支援、自己点検・評価、情報公開に活用
12	学生生活実態調	CP	隔年9～10月	全学年	学生生活、課外活動	学生委員会	集計結果が学生部より提供され、

	査		頃		の経験、学修行動、 大学に対する評価		工学部の結果については各委員会にて検討され、教務委員会にてカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、学生委員会にて修学支援、各委員会において自己点検・評価、情報公開に活用
13	入学試験	AP	毎年	入学志願者	大学での学修に必要な基礎学力	入試委員会	集計結果が入学センターより提供され、工学部の結果については、入試委員会にて検討され、入学試験の改善、入学者の現状把握に活用
14	GPS-Academic (1年次)	AP	毎年4～5月頃	1年生	本学への満足度、入学前の学習状況、海外留学の意識、卒業後の進路	学生委員会	IR・教育支援センターから依頼を受けた委託業者からの報告に基づき、工学部の結果については教務委員会にて、入学時点の汎用的能力の把握、今後の学修支援、学生委員会において修学支援、自己点検・評価、情報公開に活用
15	英語プレイスメントテスト	AP	毎年	1年生	TOEIC Bridgeテスト	教務委員会	実施後に入学時点の英語習熟度を把握し、結果については教務委員会にて検討され、習熟度別語学教育のクラス分けに活用
16	JABEEガイダンス	DP1～3/CP	年1回	1年生	学科が掲げる技術者像 (教育目標) の理解	学科	近大ゼミ（2022年度までは基礎ゼミ）の第1回で、新入生に対する建築学科JABEEの説明会を開催している 新入生の学科教育目標の把握と今後の履修指導に活用

以上

工学部 電子情報工学科 アセスメントプラン

アセスメントの方針

建学の精神並びに教育の目的に沿った教育活動を実施できているかを確認し、教育活動の成果と課題の発見に資することを目的として、学修成果のアセスメントを行う。学修成果に加えて、その過程となる学修意欲や学修行動もアセスメントに含む。これらのアセスメントにより、3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミSSION・ポリシー）の到達状況を把握する。ディプロマ・ポリシーの到達状況は卒業時の学修成果や卒業後の自己並びに社会的評価、カリキュラム・ポリシーの到達状況はカリキュラムの実施状況及び各授業科目における学生の学修成果等をもとにディプロマ・ポリシー到達に向けた進捗、アドミSSION・ポリシーの到達状況は入学者の資質・能力を確認する。

アセスメントは、学生の成果物等に基づき「何ができるか（アウトカム）」を評価する直接評価と、学生の自己評価に基づき「何ができると思っているか（アウトカム）」、「どのように学修しているか（アウトプット）」を評価する間接評価に基づき行う。学生全体だけでなく個々の学生の状況についても、経年的かつ多面的に把握する。

アセスメントの方法

No.	名称	対象	時期・頻度	学年	主な質問項目、内容等	実施責任部署	結果の活用方法
1	卒業論文・卒業研究等ルーブリック	DP1.1～DP1.4 DP2.1～DP2.2 DP3.1～DP3.2	毎年度末等	卒業学年	卒業論文・卒業研究等の学修成果	学科	個々の教員が評価を行い、結果を集約し、学科において授業方法やカリキュラム改善、自己点検・評価に活用
2	卒業アンケート	DP1～3	毎年1～3月	卒業学年	学修経験、学修行動、習得した能力、大学の満足度	学生委員会	集計結果がIR・教育支援センターより提供され、工学部の結果については教育システム改善委員会において検討され、学科のカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
3	全国学生調査（最終年次）	DP1～3	毎年1回	卒業学年	学修経験、学修行動、修得した能力、大学の印象	教務委員会	集計結果がIR・教育支援センターより提供され、工学部の結果については、教育システム改善委員会において検討され、カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、

							情報公開に活用
4	卒業生の進路状況	DP1～3	毎年1回	卒業学年	卒業生の進路（就職率、有力企業就職率、進学率）	就職指導委員会	集計結果がキャリアセンターより提供され、工学部の結果については就職指導委員会において検討され、キャリア形成支援の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
5	卒業生調査	DP1～3	毎年1回	卒業後1年以上経過の卒業生	現在の就業状況、大学に対する満足度、大学で身についた能力、授業や教育プログラムへの意見・要望	教育システム改善委員会	集計結果がIR・教育支援センターより提供され、工学部の結果については、教育システム改善委員会において検討され、カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
6	就職先アンケート	DP1～3	毎年1回	卒業生就職先 ※数名の採用実績がある企業	在籍する卒業生の活躍から、近畿大学のDP達成度や強み・弱みなどをアンケート聴取	教育システム改善委員会	集計結果がIR・教育支援センターより提供され、工学部の結果については、教育システム改善委員会において検討され、カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
7	学部長会談（広島キャンパスミーティング）	CP/DP1～3	毎年1回	学生代表者	学修行動、授業・カリキュラム満足度 学生生活に関する要望等	学部長	実施後に学生センターで報告書を集約 【学修行動、授業・カリキュラム満足度に関する意見】 教務委員会において検討され、その内容をもとに授業方法やカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価に活用 【学生生活に関する要望】 学生委員会において検討され、修学・生活環境の改善、自己点検・評価に活用

8	学修振り返りアンケート	CP	毎学期1回	全学年	学修行動、授業の理解度、学修到達目標達成度	FD活動推進部門	学生センターが結果を集計し、結果についてはFD活動推進部門において検討され、授業方法やカリキュラム改善、自己点検・評価に活用
9	成績不振学生、休退学の調査	CP	毎学期1回 (成績不振)、 随時(休退学)	全学年	学業不振の状況 (GPA、修得単位数、留年者数)、休学者数、退学者数	教務委員会	【成績不振学生(GPA、修得単位数、留年者数)】教務委員会において成績不振学生の成績分布や傾向を分析し、学修支援、カリキュラム改善、自己点検・評価に活用 【休学者数、退学者数】学生委員会において休学者数、退学者数の推移や理由を分析し、修学支援、自己点検に活用
10	全国学生調査(2年次) ※令和7年度～	CP	毎年1回	2年生	学修経験、学修行動、習得した能力、大学の印象	教務委員会	集計結果がIR・教育支援センターより提供され、工学部の結果については、教務委員会において検討され、カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
11	GPS-Academic(3年次を基本)	CP	毎年1回	原則3年生	学修行動、授業・カリキュラム満足度	学生委員会	集計結果が委託業者より提供され、工学部の結果については各委員会において検討され、就職指導委員会が就職支援、教務委員会が授業方法やカリキュラム改善、低学年時における学修環境の充実、学生委員会が修学支援、自己点検・評価、情報公開に活用
12	学生生活実態調査	CP	隔年9～10月頃	全学年	学生生活、課外活動の経験、学修行動、大学に対する評価	学生委員会	集計結果が学生部より提供され、工学部の結果については各委員会にて検討され、教務委員会に

							てカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、学生委員会にて修学支援、各委員会において自己点検・評価、情報公開に活用
13	入学試験	AP	毎年	入学志願者	大学での学修に必要な基礎学力	入試委員会	集計結果が入学センターより提供され、工学部の結果については、入試委員会にて検討され、入学試験の改善、入学者の現状把握に活用
14	GPS-Academic (1年次)	AP	毎年4～5月頃	1年生	本学への満足度、入学前の学習状況、海外留学の意識、卒業後の進路	学生委員会	IR・教育支援センターから依頼を受けた委託業者からの報告に基づき、工学部の結果については教務委員会にて、入学時点の汎用的能力の把握、今後の学修支援、学生委員会において修学支援、自己点検・評価、情報公開に活用
15	英語プレイスメントテスト	AP	毎年	1年生	TOEIC Bridgeテスト	教務委員会	実施後に入学時点の英語習熟度を把握し、結果については教務委員会にて検討され、習熟度別語学教育のクラス分けに活用

以上

工学部ロボティクス学科 アセスメントプラン

アセスメントの方針

建学の精神並びに教育の目的に沿った教育活動を実施できているかを確認し、教育活動の成果と課題の発見に資することを目的として、学修成果のアセスメントを行う。学修成果に加えて、その過程となる学修意欲や学修行動もアセスメントに含む。これらのアセスメントにより、3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）の到達状況を把握する。ディプロマ・ポリシーの到達状況は卒業時の学修成果や卒業後の自己並びに社会的評価、カリキュラム・ポリシーの到達状況はカリキュラムの実施状況及び各授業科目における学生の学修成果等をもとにディプロマ・ポリシー到達に向けた進捗、アドミッション・ポリシーの到達状況は入学者の資質・能力を確認する。

アセスメントは、学生の成果物等に基づき「何ができるか（アウトカム）」を評価する直接評価と、学生の自己評価に基づき「何ができると思っているか（アウトカム）」、「どのように学修しているか（アウトプット）」を評価する間接評価に基づき行う。学生全体だけでなく個々の学生の状況についても、経年的かつ多面的に把握する。

アセスメントの方法

No.	名称	対象	時期・頻度	学年	主な質問項目、内容等	実施責任部署	結果の活用方法
1	卒業論文・卒業研究等ルーブリック	DP2 DP3.1	毎年度末等	卒業学年	卒業論文・卒業研究等の学修成果	学科	個々の教員が評価を行い、結果を集約し、学科において授業方法やカリキュラム改善、自己点検・評価に活用
2	卒業アンケート	DP1～3	毎年1～3月	卒業学年	学修経験、学修行動、習得した能力、大学の満足度	学生委員会	集計結果がIR・教育支援センターより提供され、工学部の結果については教育システム改善委員会において検討され、学科のカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
3	全国学生調査（最終年次）	DP1～3	毎年1回	卒業学年	学修経験、学修行動、修得した能力、大学の印象	教務委員会	集計結果がIR・教育支援センターより提供され、工学部の結果については、教育システム改善委員会において検討され、カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、

							情報公開に活用
4	卒業生の進路状況	DP1～3	毎年1回	卒業学年	卒業生の進路（就職率、有力企業就職率、進学率）	就職指導委員会	集計結果がキャリアセンターより提供され、工学部の結果については就職指導委員会において検討され、キャリア形成支援の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
5	卒業生調査	DP1～3	毎年1回	卒業後1年以上経過の卒業生	現在の就業状況、大学に対する満足度、大学で身についた能力、授業や教育プログラムへの意見・要望	教育システム改善委員会	集計結果がIR・教育支援センターより提供され、工学部の結果については、教育システム改善委員会において検討され、カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
6	就職先アンケート	DP1～3	毎年1回	卒業生就職先 ※数名の採用実績がある企業	在籍する卒業生の活躍から、近畿大学のDP達成度や強み・弱みなどをアンケート聴取	教育システム改善委員会	集計結果がIR・教育支援センターより提供され、工学部の結果については、教育システム改善委員会において検討され、カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
7	学部長会談（広島キャンパスミーティング）	CP/DP1～3	毎年1回	学生代表者	学修行動、授業・カリキュラム満足度 学生生活に関する要望等	学部長	実施後に学生センターで報告書を集約 【学修行動、授業・カリキュラム満足度に関する意見】 教務委員会において検討され、その内容をもとに授業方法やカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価に活用 【学生生活に関する要望】 学生委員会において検討され、修学・生活環境の改善、自己点検・評価に活用

8	学修振り返りアンケート	CP	每学期1回	全学年	学修行動、授業の理解度、学修到達目標達成度	FD活動推進部門	学生センターが結果を集計し、結果についてはFD活動推進部門において検討され、授業方法やカリキュラム改善、自己点検・評価に活用
9	成績不振学生、休退学の調査	CP	每学期1回 (成績不振)、 随時(休退学)	全学年	学業不振の状況 (GPA、修得単位数、留年者数)、休学者数、退学者数	教務委員会	【成績不振学生(GPA、修得単位数、留年者数)】教務委員会において成績不振学生の成績分布や傾向を分析し、学修支援、カリキュラム改善、自己点検・評価に活用 【休学者数、退学者数】学生委員会において休学者数、退学者数の推移や理由を分析し、修学支援、自己点検に活用
10	全国学生調査(2年次)	CP	毎年1回	2年生	学修経験、学修行動、習得した能力、大学の印象	教務委員会	集計結果がIR・教育支援センターより提供され、工学部の結果については、教務委員会において検討され、カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
11	GPS-Academic(3年次を基本)	CP	毎年1回	原則3年生	学修行動、授業・カリキュラム満足度	学生委員会	集計結果が委託業者より提供され、工学部の結果については各委員会において検討され、就職指導委員会が就職支援、教務委員会が授業方法やカリキュラム改善、低学年時における学修環境の充実、学生委員会が修学支援、自己点検・評価、情報公開に活用
12	学生生活実態調査	CP	隔年9～10月頃	全学年	学生生活、課外活動の経験、学修行動、大学に対する評価	学生委員会	集計結果が学生部より提供され、工学部の結果については各委員会にて検討され、教務委員会に

							てカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、学生委員会にて修学支援、各委員会において自己点検・評価、情報公開に活用
13	入学試験	AP	毎年	入学志願者	大学での学修に必要な基礎学力	入試委員会	集計結果が入学センターより提供され、工学部の結果については、入試委員会にて検討され、入学試験の改善、入学者の現状把握に活用
14	GPS-Academic (1年次)	AP	毎年4～5月頃	1年生	本学への満足度、入学前の学習状況、海外留学の意識、卒業後の進路	学生委員会	IR・教育支援センターから依頼を受けた委託業者からの報告に基づき、工学部の結果については教務委員会にて、入学時点の汎用的能力の把握、今後の学修支援、学生委員会において修学支援、自己点検・評価、情報公開に活用
15	英語プレイスメントテスト	AP	毎年	1年生	TOEIC Bridgeテスト	教務委員会	実施後に入学時点の英語習熟度を把握し、結果については教務委員会にて検討され、習熟度別語学教育のクラス分けに活用

以上